



梅島小だより

『聞くことの大切さ』

副校長 鯉沼 哲

若葉の鮮やかな季節となりました。新しい学年がスタートし、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。どの学級も、新しい教室、新しい先生、新しい仲間たちとも慣れ、クラスの雰囲気も明るく盛り上がってきました。また、休み時間には、上級生と混じって黄色い帽子の1年生たちが、楽しそうに活動する姿が見られ、微笑ましく嬉しく感じています。

授業中の様子も変わってきました。4月のはじめの頃よりよい姿勢の児童が増えてきたように感じます。さて、「よい姿勢」とは、どんな姿勢のことを言うのでしょうか。私は、まずは『話をしっかり聞くこと』だと思います。ある調査では、耳から入ってくる情報は、必要として聞かない限り8割近くが誤解されるか、忘れ去られてしまうそうです。聞く人の態度がいい加減であると、話をしている人のトーンが下がり話の内容が伝わりにくいとも言われています。

話をしっかり聞くことを「傾聴する」といいますが、これは、話をしている人に「耳を傾けて」「体を傾けて」「心を傾けて」、聞くことだと思います。これらのしぐさは、話している人にはなかなか伝わりにくいことだと思います。そこで、話している人にしっかり聞いているということを伝えるために、「話している人の目を見る。」これは、ただ単に目を向けるだけではなく、話している人に体を傾けることが大切です。また、聞いた内容が分かった時には、「うなずいたり、相づちを打ったりする。」などの姿勢が大切だと思っています。話している人がしっかり聞いているなど分かった時、話し方が変わり、自然と聞いている人に合わせることが出来ます。聞いている人の姿勢が、話し方を変え、内容をより分かりやすくできるのだと思います。

このように、「話をしっかり聞くこと」が学ぶための基本になり、人と上手にコミュニケーションをとるための基本となると思います。梅島小学校の子どもたちには、ぜひ、「聞き上手」になってほしいと思います。そして、ご家庭でも子どもたちの話をしっかり聞き、受け止めていただきたいと思っています。